

職リハ学会通信

No.173 2023年 3月発行

目次

第50回神奈川大会のご案内	2P
運営理事会報告	3P
委員会報告	4P
ブロック活動報告	5P
会員投稿・報告	7P
事務局からのお知らせ	11P

参加ならびに発表の申込開始！

第 50 回かながわ大会の準備が進んでいます。学会のホームページにバナーが設置されており、横須賀美術館他をモチーフにした大会ページをご覧になった方もいらっしゃるかと思います。3月30日（木）より、参加ならびに演題発表等の申込も開始します。8月25日（金）・26日（土）に、神奈川県立保健福祉大学に職業リハビリテーションにかかわる多くの方が集まり、活発な意見交換ができることを願っています。

○ 大会プログラム

大会企画として、現在2つのシンポジウムと1つのオープン講座を計画しています。

大会企画シンポジウムⅠは、2022年度学会3役（朝日雅也氏・小川浩氏・倉知延章氏）と輪島忍氏（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長代理）により、大会テーマ（能力を発揮して活躍する社会の構築に向けて）に沿ってそれぞれの立場からの発表、ならびに職業リハビリテーション学会は今後どのような役割が期待されるかについて考える機会が提供できればと考えています。大会企画シンポジウムⅡは、障害者を雇用している企業等を支える取組を続けている小形秀夫氏（障害者雇用部会理事長）、依田晶男氏（医療機関の障害者雇用ネットワーク代表）、そして福祉サービスとして働く障害者を支えている酒井大介氏（全国就労移行支援事業所連絡協議会会長）、久保寺一男氏（就労継続支援A型事業所全国協議会理事長）から、現在の課題と今後の取組の方向性を発表していただき、各現場から雇用の質についての意見交換が行われる予定です。そして、大会企画のオープン講座は、これから社会で活躍する子どもやその家族を主な対象に、働くことの意味やキャリア発達の視点の重要性について、神奈川県立保健福祉大学名誉教授の松為信雄氏に講演をお願いしています。このオープン講座は、学会参加者に限らず広く多くの方の参加を予定し

ています。

その他、例年通り研修委員会企画の「研修講座」、国際委員会や政策委員会企画のシンポジウムも4年ぶりに対面形式で開催されます。もちろん、学会員の皆様の自主的な演題発表（口頭・ポスター）や自主ワークショップのための教室も用意しています。新型コロナ5類移行が確定したことから、情報交換会（ささやかな交流会）も開催できそうです。

○ 申込の締切

久々の対面形式の第50回かながわ大会は、ぜひ多くの方に参加していただきたいと考え、定員450名としました。8月25日（金）・26日（土）に当日参加受付を行います。事前申込は7月18日（火）が締切です。参加費は、学会正会員6,000円、非会員7,000円、学生3,000円です。締切を過ぎると、当日受付処理で、学会正会員7,000円、非会員8,000円、学生3,000円になります。

演題申込（口頭発表・ポスター発表・自主ワークショップ）の締切は5月22日（月）を予定しています。各発表の抄録原稿の締切は6月30日（金）です。抄録集は冊子として大会参加者に配布予定ですので、締切期日遵守のご協力よろしくお願いします。

○ おわりに

横須賀市観光協会のご協力で、大会ページからホテルの宿泊予約も可能になる予定です。せっかくの機会ですので、ぜひ横須賀で宿泊していただければと思います。4年ぶりの対面形式の大会の詳細な案内については随時大会ページで案内を行っていきます。大会実行委員会一同、精いっぱい努力をいたしますので、ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております。

（第50回かながわ大会 大会長 志賀利一）